比較して整理！詐欺【回答動画】H8-5①

H23-1③【#092】宅建士講座 2016

（平成 8 年 問 5 肢 1）

A所有の土地について、AがBに、BがCに売り渡し、AからBへ、BからCへそれぞれ所有権移転登記がなされた場合に関する次の記述のうち、民法の規定によれば、正しいものはどれか。

1. Cが移転登記を受ける際に、AB間の売買契約がBの詐欺に基づくものであることを知らなかった場合で、当該登記の後にAによりAB間の売買契約が、取り消されたとき、Cは、Aに対して土地の所有権の取得を対抗できる。

2、3、4 は省略

⇒正しい

複製・頒布を禁じます

（平成 23 年 問 1 肢 3）
　A所有の甲土地につき、AとBとの間で売買契約が締結された場合における次の記述のうち、民法の規定及び判例によれば、正しいものはどれか。

3.　AがBにだまされたとして詐欺を理由にAB間の売買契約を取り消した後、Bが甲土地をAに返還せずにDに転売してDが所有権移転登記を備えても、AはDから甲土地を取り戻すことができる。

1、2、4 は省略

⇒誤り

≪本講のまとめ≫

1）基本事項と比較をしながら派生論点をおさえる
2）理解した上で、コンパクトに整理しておく

【宅建渋谷会】佐伯竜の通信教材 （2016/06/16現在）

通信教材 宅建 平成28年版 基本問題演習講座
http://shibuyakai.com/takken/dvd13.html

通信教材 平成28年版 宅建【基幹講座】全分野セット
http://shibuyakai.com/takken/dvd12.html

佐伯竜 ＆ 宅建渋谷会　　複製・頒布を禁じます
http://shibuyakai.com